



特定非営利活動法人

東京学芸大子ども未来研究所

Tokyo Gakugei Univ. Children Institute for the Future



# TECH未来通信

2021.JAN  
VOL.035



〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1  
東京学芸大学内20周年記念飯島同窓会館1階  
042-316-6645 ✉info@techmirai.jp

## TECH未来を使ってきた先生方(その19)

### 東京都でのTECH未来

今回は、西東京市立田無第四中学校の須貝友貴(すがいゆうき)先生にお話を伺いました。

昨年12月の三年次研修授業研究でTECH未来を使用して授業実践をしてくださいました。そんな須貝先生にインタビューしてきました。

ー現在、教員何年目ですか？

今年度3年目になります。

ー技術科の先生になった理由を教えてください！

ものづくりが好きで、自分の考えを設計で表現し、製作を行い形にするところに魅力を感じました。世の中に存在する技術に込められた技術者の熱意や思いなども伝えていきたいと思いました。

ーTECH未来の良いところを教えてください！

枠にとらわれることなく、新たな疑問を次々自分たちで試せるところです。型が決まっていない分発想の幅を広げていくことができるのだと思います。あとは基本的な知識を実際に確認した上で習得した学習内容を応用し活用することができるのも魅力の一つですね。

ーTECH未来を使用した生徒の反応は？

テック未来を導入する前までは、今まで学習した内

容と教材をうまく結びつけることができず、私自身「これでいいのか？」とモヤモヤしていました。テックを使用するようになってからは、学習した内容を自ら活用とする姿勢が目に見えるようになり、あまり前向きではなかった生徒も「今日何やるんですか!？」と授業前に聞きに来ます。生徒の「もっと知りたい!」という心をくすぐる教材だと思いました。

ー今後TECH未来でどんなことをしてみたいですか？

可能性に溢れた生徒の創造性をTECH未来でかたちにしていきたいです。授業では身の回りや社会の問題解決をテーマに1人1作品、生徒が自分で考え設計し製作までの工程に挑戦しようと思っています。

ー最後に一言！

まだまだ私自身も試行錯誤していますが、生徒と共にTECH未来を使い生徒の創造性を最大限引き出せる授業づくりに努めていきます！



### 編集後記

TECH未来を使用することで、先生自身の授業づくりに対するモヤモヤも解消していただけたようですね。ぜひまた授業実践報告もお待ちしております！須貝先生ありがとうございました！